

- 個人の体質や属性によりアルコールの健康リスクが異なることを考慮し、効果的な普及啓発を実施する
- アルコール健康障害の早期発見と早期介入を促進するため、医療提供体制を強化するとともに、相談機関、医療機関をはじめとした地域の多様な関係機関のさらなる連携体制を構築する
- アルコール健康障害の当事者のみならず、家族への支援を重視し、生活全体を支える視点から対策を充実させる

区分	現在の取組	課題	今後の方向性
普及啓発の促進	リーフレット作成、都民向けフォーラム、ホームページでの情報発信 等	若年世代や妊娠中の飲酒に対する正しい理解、新型コロナを契機とした自宅での飲酒習慣	ターゲットを絞った効果的な普及啓発の実施
相談支援体制	精神保健福祉センターでの相談支援、本人・家族向け支援プログラム 等	相談機関の認知度向上、当事者が相談しやすい環境の整備	相談機関の周知やSNSを活用した相談の実施
医療提供体制	専門医療機関の指定、治療拠点機関での医療従事者向け研修 等	当事者が気軽に相談できる身近なクリニックの確保や対応力の向上	早期発見・早期支援に向けた人材育成や体制整備
関係機関との連携	精神保健福祉センターでの地域連携会議、区市町村職員等を対象とした研修 等	依存症患者の家族へのさらなる支援	児童福祉部門など、関係機関との連携強化